

一般社団法人日本粉体工業技術協会 2016年度 第4回

電池製造技術分科会 開催案内

一般社団法人日本粉体工業技術協会 電池製造技術分科会

コーディネーター (独)産業技術総合研究所 境 哲男

副コーディネーター 東京大学 堤 敦司

代表幹事 赤武エンジニアリング(株) 秋元 祐

副代表幹事 東洋ハイテック(株) 桜井 敏夫

副代表幹事 (株)セイシン企業 佐藤 高公

2017年 先端電池材料と電池製造技術に関する日本—台湾合同シンポジウム
(2017 Japan-Taiwan joint symposium on advanced battery materials and
battery production technologies)

主催 一般社団法人日本粉体工業技術協会電池製造技術分科会

共催 台湾電池協会

後援 国立大学法人山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター、
国立大学法人東京大学 生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター、
山形銀行、台湾貿易センター

【日時および場所】

2017年2月28日(火) 13:00—20:30

会場; 東京ビックサイト 101会議室 (東京都江東区有明3丁目11番1号
TEL03-5530-1115)

受付: 12:30~13:00、シンポジウム;13:00~17:30、
個別面談会;17:30~18:30、交流会:18:30—20:30

【開催趣旨】

世界的な環境規制の強化に伴い、電気自動車の開発と導入が活発化しており、電池の生産量は急増しつつあります。ただ、車載用電池では、自動車メーカーや車種によって電池材料や電池設計が大きく異なるとともに、激しい開発競争の中で材料技術や電池技術が急ピッチで進展しております。そこで、先端材料や製造加工技術の開発

動向を的確にキャッチして、近い将来に主流となる車載用電池について対策しておくことが必要になります。

2017年 3月1日～3日、東京ビックサイトにて国際二次電池展(バッテリー・ジャパン)が開催され、本協会電池製造技術分科会の会員の多くが出席いたします。また、台湾からも台湾電池協会の会員を中心に出席されますので、この機会を利用して、毎年開催しております先端電池材料と電池製造技術に関する日本—台湾合同シンポジウムを、その前日に、同じ会場にて開催することにいたしました。

今回のシンポジウムでは、1)先端電池材料、2)製造加工技術や電池技術、評価技術、に関するトピックスについて概要を紹介いたします。その後で、各トピックスに関する個別面談会を行い、より深い技術交流を図る予定にしております。最後に、交流会にて、広い人脈形成を行って頂ければと思います。今回のシンポジウムにより、先端電池材料や製造加工装置で強みを持つ日本企業と、迅速な応用展開と大量製造技術で強みを持つ台湾企業との緊密な連携により、多様化して急成長するグローバルマーケットに迅速に 대응する体制が構築できればと考えています。

参加希望者は、文末にあります申込項目をご記載の上、電子メールにて、受付担当(山形大学)までお申し込みください。

【プログラム】 13:00～20:30

13:00～13:10 開会の挨拶 (山形大学 境教授、台湾側 Prof. Lee)

(司会:東大 堤教授、台湾側 Dr. Lee)

13:10～15:00 シンポジウム 第Ⅰ部 先端電池材料と電池

15:00～15:20 コヒーブレイク

(司会:山形大学 境教授、台湾側 Prof. Lee)

15:20～17:20 シンポジウム 第Ⅱ部 製造加工と評価技術

17:20～17:30 閉会の挨拶(東京大学 堤教授、台湾側)

17:30～18:30 個別面談会(各テーマにて個別面談)

18:30～20:30 交流会

【シンポジウムの内容】

第Ⅰ部 先端電池材料と電池 (日本側)

I-J1)旭カーボン(株) 技術部 山口東吾氏(Togo Yamaguchi)

「カーボン系導電助剤の開発」

I-J2) (株)大阪チタニウムテクノロジーズ 高機能材料製造部 木崎信吾氏

(Singo Kizaki) 「SiO 系負極材料の開発」

I-J3)三井金属鉱業(株) 機能材料研究所 井手仁彦氏(Ide Hitohiko)

「Argyrodite 型硫化物系固体電池の高電圧充放電特性」

I-J4)住友ベークライト(株) 負極材事業開発部 佐々木龍朗氏(Tatsuro Sasaki)

「ハードカーボン系負極材料の開発」

- I-J5)住友ゴム工業(株) 研究開発本部 久保達也氏(Tatsuya Kubo)
「硫黄系正極材料の開発」
- I-J6)エルケムジャパン 吉澤啓典氏(Hironori Yoshizawa)
「シリコン系負極材料の開発」
- I-J7)日本バイリーン(株) 産業資材事業部 佐藤芳徳氏(Yoshinori Sato)
「耐熱性不織布セパレータの開発」
- I-J8) 昭和電工(株) 先端電池材料部 武内正隆氏 (Masataka Takeuchi)
「負極材料、CNT,アルミラミネート材の開発」

第 I 部 先端電池材料と電池 (台湾側)

- I-T1)中鋼碳素化學股份有限公司 (China Steel Chemical Corporation)
「Anode Material for Li-ion Battery, High Surface Area Activated Carbon」
- I-T2)尚志精密化學股份有限公司 (Tatung Fine Chemicals Co.)
「Lithium iron Phosphate cathode material」
- I-T3)識驊科技股份有限公司 (SHIH HUA TECHNOLOGY LTD.)
「Carbon nanotube powder and conductive paste for Battery」
- I-T4)昇陽國際半導體股份有限公司 (Phoenix Silicon International)
「Lithium Iron Phosphate Battery and Cell」
- I-T5)友達晶材股份有限公司 (AUO Crystal Corp)
「Specific manufacture Si-anode for Li-ion cell」
- I-T6)有量科技股份有限公司 (Amita Technologies Inc.)
「High power Li-Polymer Battery」

第 II 部 製造加工と評価技術(日本側)

- II-J1)(株)パウレック 堀越 勝氏(Masaru Horikoshi)
「電池活物質粒子の流動層式コーティング技術」
- II-J2)プライミクス(株) 川久保舞子氏(Maiko Kawakubo)
「連続スラリー連続製造装置と電極塗工、セパレータセラミックコート技術」
- II-J3)日本スピンドル製造(株) 大西慶一郎氏(Keiichiro Oonishi)
「電池用スラリー製造装置とアルカリ中和技術」
- II-J4)澁谷工業(株) 諏訪隆之氏(Takayuki Suwa)
「電極切断用レーザアブレーションシステム」
- II-J5)東洋ハイテック(株) 大石鮎太氏(Ayuta Ooishi)
「電池製造における粉体プロセス」
- II-J6)(株)セイシン企業 平 貴幸(Takayuki Taira)
「電池活物質の形状とその評価」
- II-J7)ホソカワミクロン(株) 羽木 孝輔(Hagi Kousuke)
「電池材料のジェットミル粉碎、分級、造粒技術」

Ⅱ-J8)(株)タナベ 木村正人氏(Masato Kimura)

「電池材料のロータリーキルン焼成技術」

Ⅱ-J9)(株) UL Japan 石原直樹氏 (Naoki Ishihara)

「電池の安全性評価と標準化」

第Ⅱ部 製造加工技術、評価(台湾側)

Ⅱ-T1)維洋科技股份有限公司 (Mobile Energy Technology Co., Ltd.)

「12V car battery and 24-48V battery pack manufacture」

Ⅱ-T2)新科電力科技股份有限公司 (Think Power Technology Co., Ltd.)

「Portable charging discharging equipment and high rate battery cyclers」

Ⅱ-T3) 承德科技股份有限公司 (Chen Tech Electric Mfg. Co. Ltd)

「Battery and battery pack testing Equipment」

Ⅱ-T4)天宇工業股份有限公司 (Formosa Electronic Industries Inc.)

「Battery Pack for E-bike/scooter and smart management Energy Storage System」

Ⅱ-T5)喬信電子股份有限公司 (J.S. POWER)

「High safety Li-ion battery pack」

Ⅱ-T6)美律實業股份有限公司 (Merry Electronics Co., Ltd)

「ODM/OEM for rechargeable battery pack , power bank and ESS」

Ⅱ-T7)佐茂股份有限公司 (JOULES MILES CO., LTD.)

「Several applications of Li-rechargeable battery pack」

Ⅱ-T8)長泓能源科技股份有限公司 (Chang Hong Energy Technology Co., Ltd)

「ESS and high-power applications by LFP battery pack」

Ⅱ-T9) 非凡能源科技股份有限公司 (Masterhold Int'l Co., Ltd.)

「Battery pack for E-bike and motorcycle, ESS for solar power」

参加費：10,000円（出欠にかかわらず交流会費を含みます。当日、現金にて
受付でお支払い下さい。領収書をお渡します。）

定員：120人(先着順)

申込締切：2017年2月17日(金)

申込先：山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター

担当 長谷川(山形銀行より出向)

TEL; 0238-29-0566 FAX 0238-29-0567,

E-mail+ kouinoel@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※ 参加希望者は、電子メールもしくはFAXにて、下記の申込項目を記載の上、お
申し込みください。

[申込項目]

勤務先:

氏名:

所属:

役職:

住所:〒

電話:

FAX:

E-mail:

日本粉体工業技術協会会員のご確認: 会員/非会員

交流会: 参加/不参加

備考: